

# 都市再生整備計画(第10回変更)

こくらとしん  
小倉都心地区

ふくおかけんきたきゅうしゅうし  
福岡県北九州市

平成21年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	福岡県	市町村名	北九州市	地区名	小倉都心地区	面積	380 ha
計画期間	平成 2 年度 ~ 平成 25 年度	交付期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度				

**目標**  
 大目標:小倉都心部の魅力を高め、集客活性化を図るため、北九州200万都市圏の中核に相応しい高次な都市機能の充実と、都心部の賑わいづくりを推進する。

目標1	200万都市圏の交流拠点として、楽しむ場や働く場が充実した、賑わいのある都心をつくる
目標2	多くの人が集まって、便利に、安心・安全に暮らすことができる都心をつくる
目標3	人や産業の交流が活発に円滑に行われる、交通機能の充実した都心をつくる
目標4	個性的な魅力とアメニティの豊かさによって、多くの人をひきつける都心をつくる

**目標設定の根拠**

**まちづくりの経緯及び現況**  
 ・小倉都心地区は、北九州市周辺を含む200万都市圏の中核として、商業、業務・サービス、公共公益機能など、さまざまな高次の都市機能が集積する一方、紫川河畔は親水アメニティ空間が広がり、勝山公園周辺には小倉城をはじめ、歴史・文化的資産が多く存在している。  
 ・小倉駅周辺は九州の玄関口として、鉄道、道路、海上の多様な交通モードが結節しており、駅南北の再開発や駅の改築、駅前広場、ペDESTリアンデッキの整備などによって、交通結節機能と一体的な商業施設が立地している。また、駅北口には、コンベンション・ビジネス機能が集積している。  
 ・紫川周辺は、紫川マイタウンマイリバー整備事業として、親水空間の整備や沿川の再開発などが進められて、大型集客施設が集積する河畔一帯は北九州を代表する賑わいエリアになっている。  
 ・マンション立地件数が市内では都心周辺部が最も活発であり、便利さを重視する都市生活志向が高いことがうかがえる。  
 ・「都心のオアシス」である勝山公園は、紫川河畔と一体的なオープンスペースであるが、現在、平成18年春の一部完成を目指して大規模なリニューアルが図られている。  
 ・平成12年度から「まちづくり総合支援事業」を活用し、紫川河畔や勝山公園周辺を中心に、公園・道路・河川など都市基盤施設の高質化や、地元まちづくり団体の「紫川マイタウンの会」による貸しポートやオープンカフェなどのモデルイベント（社会実験）への支援を通じ、紫川周辺の賑わいづくりに取り組んできた。平成15年度には同会によるまちづくり活動が、国土交通省の「手づくり郷土賞<地域活動部門>」を受賞するなど、市民と行政が協働した取り組みが着実に成果をあげている。  
 ・地区内の商業は一時、大型商業施設の撤退等により停滞した時期もあったが、近年、大型集客施設の相次ぐ開業を機に来街者も増加に転じ、小倉都心の求心力は確実に回復している。

**課題**  
 ・来街者が活発に回遊し、賑わいが面的に拡大するためには、大型集客施設をネットワークする主動線だけでなく、裏路地などのルート開拓やその沿道の魅力づくりが必要である。  
 ・小倉都心において、安全で安心して歩ける歩行者空間の整備が必要である。  
 ・都心の多様な魅力を維持し、さらに発信していくためには、イベントや情報発信、空き店舗対策など、多面的な活性化策が必要である。  
 ・小倉駅南口周辺は、北九州の顔であるにもかかわらず、不規則に建てられた商業ビルや看板やネオン広告が無秩序に混在している。

**将来ビジョン(中長期)**  
**北九州200万都市圏の都心として、次世代に向けた都市圏の発展を先導していく、躍動的で魅力豊かなまちをつくる**  
 ■広域都心機能の充実  
 200万都市圏の広域ニーズに対応した高次な都市機能とともに、周辺生活圏の暮らしを支援する機能の充実を進めていく  
 ■広域交通拠点機能の充実  
 広域や空港・港湾とのアクセス拠点にふさわしい、高次な交通結節機能や交通ネットワークを形成していく  
 ■都市居住再生  
 多世代の人々が、都市居住を楽しみ、心豊かに暮らすことができるまちづくりを進めていく  
 ■都市のシンボル空間形成  
 多様な都心機能と水辺の自然や歴史・文化の調和を魅力とするまちづくりを進めていく  
 ■都心空間の再生  
 ヒューマンスケールの親しみやすい小倉都心の魅力を大切にしながら、市街地の更新を進めていく

**目標を定量化する指標**

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1.小倉都心の年間小売売上額	億円/年	商業統計調査に基づく対象区域内の年間小売売上額	主たる来街目的である購買志向を定量的に把握するための指標。対象期間内に開業した郊外型ショッピングセンター等による影響を考慮したうえで、小売売上額の回復を目標とする。	1,970	平成14年度	2,000	平成20年度
2.JR小倉駅の年間乗降客数	万人/年	交通ターミナル拠点である小倉駅における、JR在来線の年間乗降客数の総計	市内外からの来街志向を定量的に把握するための指標。過去からの長期にわたる減少傾向(-1.9%)が今後も続くものとし、交付金の活用によって、その減少傾向を緩やかにする(-1.8%)ことを目標とする。	2,890	平成14年度	2,590	平成20年度
3.JR西小倉駅の年間乗降客数	万人/年	小倉の文化地区、業務機能の拠点である西小倉駅における、年間乗降客数の総計	文化、業務機能の拠点として、日常生活に伴う、地区内の回遊性や賑わいを定量的に把握するための指標。大型集客施設の開業に伴い乗降客数の伸び率を3%と定め、対象期間内、伸び率が継続することを目標とする。	189	平成14年度	225	平成20年度
4.魚町・京町商店街における歩行者通行量	人/日	毎年8月、定点観測している歩行者交通量のうち、魚町・京町商店街(各1箇所)の土日平均歩行者交通量の合計	休日における都心の回遊志向を定量的に把握するための指標。公共交通機関の利用者の減少に伴い歩行者通行量が減少傾向にあることを考慮したうえで、来街者の増加(1,000人)の増加を目標とする。	35,000	平成14年度	32,000	平成20年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>整備方針1 (200万都市圏の交流拠点にふさわしい賑わいのある都心)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩いて回遊できるコンパクトさの中に多彩な顔を持つ小倉都心の商業空間の魅力を高めるために、小倉駅周辺、紫川周辺、旦過地区、及び、それらを結びつける魚町、京町において、既存の商業集積や周辺環境を活かして、一体的な魅力あるまちづくりを行う。</li> <li>・小倉駅周辺では、既存の商業機能を中心に、小倉駅の広域交通拠点性を活かして、北九州市の玄関口に相応しい魅力を持つ拠点づくりを図っていく。</li> <li>・紫川周辺では、既存の商業機能を中心に、紫川河畔や勝山公園の豊かな水辺環境と歴史環境を活かして、都心のシンボルゾーンに相応しい魅力を持つ拠点づくりを図っていく。</li> <li>・魚町・京町地区は、都心商業の中核的役割を担う拠点として、小倉駅や紫川周辺の賑わい拠点と連携し、都心の回遊軸となる各商店街の個性を活かして、回遊の楽しさを魅力とする拠点づくりを図っていく。</li> <li>・まちの集客力や賑わいを維持していくために、小倉都心を一体的に捉え、地元のみならず、イベントや社会実験などを実施しながら、イベントや社会実験などを実施していく。</li> <li>・小倉城や勝山公園と、その周辺の文化施設の活用を図るとともに、一体的な歴史・文化地区として、観光客にもアピールできる魅力ある環境形成を図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイン整備</li> <li>・小倉駅周辺歩行者支援施設</li> <li>・小倉駅南口広場景観形成</li> <li>・小倉駅南口東地区市街地再開発周辺</li> <li>・小倉駅南口公共通路照明整備</li> <li>・室町一丁目地区市街地再開発周辺</li> <li>・小倉駅南口東地区市街地再開発周辺</li> <li>・旦過第一地区市街地再開発周辺</li> <li>・紫川夜間景観整備</li> <li>・勝山公園整備</li> <li>・花と緑の並木通り整備</li> <li>・紫川親水空間施設整備</li> <li>・小倉城整備事業</li> <li>・北九州国際会議場防水対策事業</li> <li>・ITを活用した観光基盤整備事業</li> <li>・若者ワークプラザ北九州整備事業</li> <li>・都心の賑わいづくり推進事業</li> </ul>
<p><b>整備方針2 (安心・安全に暮らすことのできる都心)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の健全育成や高齢者も安心・安全に暮らすことのできる生活環境の形成に向けて、地元住民の協力や合意形成を図りながら、都市基盤施設の整備を進める。</li> <li>・都心にふさわしい良好な住環境や住宅ストックの形成において、調和のとれた周辺環境の整備を行っていく。</li> <li>・街灯の設置、歩道幅員の拡幅等により、安心で安全な歩行者空間の創出を図っていく。</li> <li>・地震に強いまちづくりを目指し、人口及び都市機能が集積する都心に防災拠点の整備を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイン整備</li> <li>・小倉駅周辺歩行者支援施設</li> <li>・小倉駅公共通路照明整備</li> <li>・旦過第一地区市街地再開発周辺</li> <li>・紫川夜間景観整備</li> <li>・勝山公園整備</li> <li>・花と緑の並木通り整備</li> <li>・城内大手町線</li> <li>・子育て支援プラザ整備</li> <li>・砂津地区臨海部防災拠点整備</li> <li>・堺町公園整備</li> <li>・都心の賑わいづくり推進事業</li> <li>・堺町安全・安心センター建設事業</li> </ul>
<p><b>整備方針3 (交通機能の充実した都心)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小倉都心に集中する交通を円滑に処理する道路ネットワークの整備するとともに、都市高速道路とのアクセスを強化する道路機能の充実を図る。</li> <li>・九州の玄関口である小倉駅における、公共交通機関相互の連携の強化や乗降のしやすさ、待合環境の改善を図る。</li> <li>・都心地区の回遊性を高めるため、公共交通による回遊行動支援及び拠点連携強化を支援する公共交通サービスの検討を行う。</li> <li>・誰もが歩きやすい歩行者ネットワークの整備を行う。合わせて、沿道の障害物の撤去の徹底を図ることにより、安心して歩ける歩行者空間の創出を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紫川東線</li> <li>・博労町線</li> <li>・国道199号</li> <li>・大手町金田1号線</li> <li>・小倉港線</li> <li>・小倉駅周辺歩行者支援施設</li> <li>・小倉駅公共通路照明整備</li> <li>・花と緑の並木通り整備</li> <li>・城内大手町線</li> <li>・都心部ヒートアイランド対策推進事業</li> <li>・都心の賑わいづくり推進事業</li> </ul>
<p><b>整備方針4 (快適で品格ある都市景観を有する都心)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・200万都市圏の都心に相応しい品格のある街並み形成を目指し、景観に配慮しながら、道路、公園、広場、水辺などの整備を図っていく。</li> <li>・北九州市を代表する魅力と風格ある美しい街並みを創出するために、市民や企業と行政の協働による沿道整備を図っていく。</li> <li>・紫川とその周辺を、北九州市のシンボル空間と位置付けて、良好な水辺空間の形成によるまちづくりを図っていく。</li> <li>・小倉駅北口地区において、陸と海の玄関口に相応しい、北九州市の新たな賑わい空間形成に向けて、シンボルロードやウォータースタイルの整備を図っていく。</li> <li>・都心の魅力向上、環境負荷の低減、都市居住のアメニティ向上などを図っていくため、公共空間における緑化を図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小倉駅周辺歩行者支援施設</li> <li>・小倉駅南口広場景観形成</li> <li>・小倉駅公共通路照明整備</li> <li>・室町一丁目地区市街地再開発周辺</li> <li>・小倉駅南口東地区市街地再開発周辺</li> <li>・旦過第一地区市街地再開発周辺</li> <li>・紫川夜間景観整備</li> <li>・勝山公園整備</li> <li>・花と緑の並木通り整備</li> <li>・砂津地区臨海部防災拠点整備</li> <li>・堺町公園整備</li> <li>・紫川親水空間施設整備</li> <li>・城内川河川浄化対策</li> <li>・都心部ヒートアイランド対策推進事業</li> <li>・都心の賑わいづくり推進事業</li> </ul>
<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●都市景観整備地区による建築物の誘導</li> <li>都市景観整備地区条例に基づき、当該地区の建築物の外構等に対して、本地区に相応しい仕様に誘導する。</li> </ul>	

交付対象事業費	9,532	交付限度額	3,812	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分	
道路	街路	紫川東線	北九州市	直	420m	H3	H24	H16	H20	9,600	1,394.00	1,394	1,394
		博労町線	北九州市	直	182m	H11	H23	H18	H20	8,815	2,953.00	2,953	2,953
	道路	国道199号	北九州市	直	240m	H18	H19	H18	H19	40	44	44	44
		大手町金田1号線	北九州市	直	400m	H19	H21	H19	H20	30	27	27	27
		小倉港線	北九州市	直	180m	H20	H20	H20	H20	12	12	12	12
公園		堺町公園	北九州市	直	2,322㎡	H20	H20	H20	H20	40	45	45	45
河川										0			
下水道										0			
駐車場有効利用システム										0			
地域生活基盤施設										0			
高質空間形成施設		北九州市	直			H16	H21	H16	H19	2,405	2,265.0	2,265	2,265
高次都市施設		北九州市	直			H2	H25	H16	H20	119,868	844	844	844
高次都市施設										0			
既存建造物活用事業		北九州市	直			H17	H17	H17	H17	842	842	842	842
土地区画整理事業													
市街地再開発事業													
住宅街区整備事業													
地区再開発事業													
バリアフリー環境整備促進事業													
優良建築物等整備事業													
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型												
	沿道等整備型												
	密集住宅市街地整備型												
	耐震改修促進型												
街なみ環境整備事業													
住宅地区改良事業等													
都心共同住宅供給事業													
公営住宅等整備													
都市再生住宅等整備													
防災街区整備事業													
合計										141,652	8,426.0	8,426.0	8,426.0

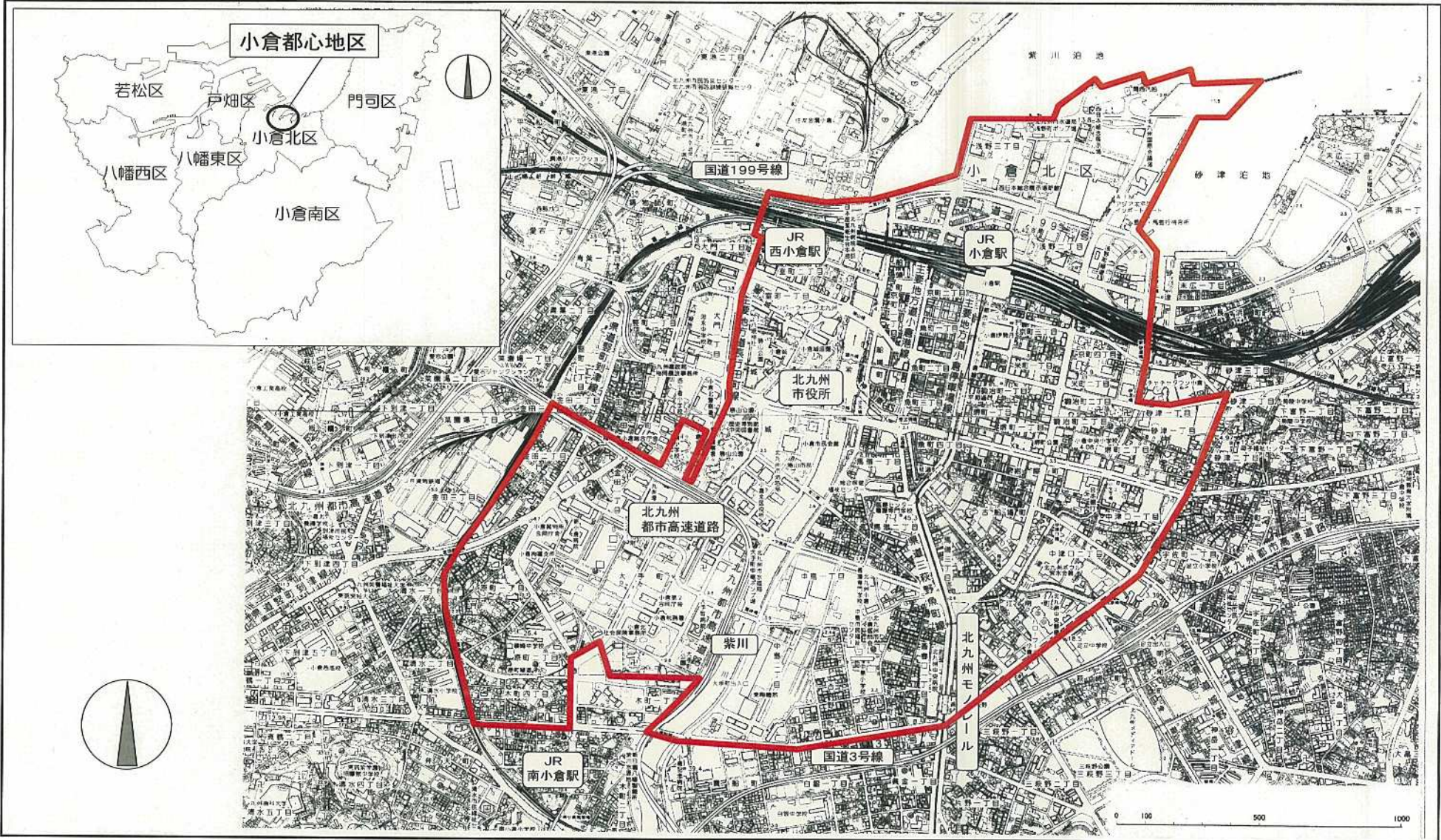
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
地域創造支援事業	親水活動支援施設	紫川親水空間施設整備	北九州市	直	—	H17	H19	H17	H19	173	173	173	173	
	河川環境対策	城内川河川浄化対策	北九州市	直	—	H16	H17	H16	H17	35	35	35	35	
	道路景観整備	小倉駅南口広場景観形成	北九州市	直	—	H18	H20	H18	H18	9	9	9	9	
	観光施設整備事業	小倉城整備事業	北九州市	直	—	H18	H20	H18	H19	240	240	240	240	
	国際交流施設整備	北九州国際会議場防水対策事業	北九州市	直	—	H18	H19	H19	H20	122	122	122	122	
	ヒートアイランド対策推進	都心部ヒートアイランド対策推進事業	北九州市	直	—	H18	H20	H18	H19	16	16	16	16	
	堺町安全・安心センター整備	堺町安全・安心センター建設事業	北九州市	直	—	H19	H20	H19	H20	88	88	88	88	
	観光基盤整備	ITを活用した観光基盤整備事業	北九州市	直	—	H19	H19	H19	H19	1	1	1	1	
	若年者就業支援施設整備	若者ワークプラザ北九州整備事業	北九州市	直	61.0㎡	H19	H19	H19	H19	5	5	5	5	
	事業活用調査	事業効果分析	北九州市	直	—	H20	H20	H20	H20	2	2	2	2	
まちづくり活動推進事業	イベント運営支援	都心の賑わいづくり推進事業	北九州市/実行委員会	直/間	—	H16	H20	H16	H20	452	452	415	37	415
合計										1,143.0	1,143.0	1,106.0	37	1,106.0

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
街路事業	城内大手町線	北九州市	国土交通省	L=750m, W=27m		○			H9	H20	9,311
市街地再開発事業	室町1丁目地区	再開発組合	国土交通省	2.5ha		○			H12	H18	47,479
市街地再開発事業	小倉駅南口東地区	再開発組合	国土交通省	0.6ha		○			H18	H22	9,400
市街地再開発事業	旦過第一地区	再開発組合	国土交通省	1.5ha		○			H17	H21	14,940
市街地再開発事業	西小倉駅前第一地区	再開発組合	国土交通省	0.5ha		○			H19	H23	590
公園事業	勝山公園	北九州市	国土交通省	20.2ha		○			H4	H21	3,481
都市基盤河川整備事業	紫川	北九州市	国土交通省	16ha		○			H2	H25	43,000
合計											128,201

合計(A+B) 9,532.0

都市再生整備計画の区域

小倉都心地区(福岡県北九州市)	面積 380 ha	区域 小倉北区浅野、室町、城内、大手町、京町、魚町、船場町、米町等
-----------------	--------------	--------------------------------------



## 小倉都心地区(福岡県北九州市) 整備方針概要図

<b>目標</b> 小倉都心部の魅力を高め、集客活性化を図るため、北九州200万都市圏の中核に相応しい高次な都市機能の充実と、都心部の賑わいづくりを推進する。	<b>代表的な指標</b>	1. 小倉都心の年間小売売上額 (億円/年)	1,970 ( 14年度) →	2,000 ( 20年度)
		2. JR小倉駅の年間乗降客数 (万人/年)	2,890 ( 14年度) →	2,590 ( 20年度)
		3. JR西小倉駅の年間乗降客数 (万人/年)	189 ( 14年度) →	225 ( 20年度)
		4. 魚町・京町商店街における歩行者通行量 (人/日)	35,000 ( 14年度) →	32,000 ( 20年度)

